

アグリ ワークポイント



農業経営支援課 石田 哲也

苗の準備

緑化期以降は、根の呼吸が活発になります。この時期にかん水が多いと床土が過湿になり、根の呼吸が妨げられるため、マット形状が不良になります。育苗初期のかん水は、午前中に1回充分に、苗が大きくなつた育苗後期は、1日1〜2回を目安に行いましょう。ただし、夕刻のかん水は、**温度低下や夜間の呼吸を妨げるので避けましょう。**

また、風で育苗箱の隅の苗が白く乾くので、板等で風よけを作るか、その部分だけかん水することがポイントです。

本田の準備

元肥は入水前に施用し、混和しておくことが重要です。代かきは、田植え2〜3日前が標準ですが、砂質土では1日前、重粘土では3〜4日前に行いましょう。**田植え前に箱施用剤で省力防除**

令和3年も**ウンカ**が多く発生する可能性がります。発生数が増えてからの防除では、増殖を抑えることが難しいため、**長期的に効果が続く箱施用剤『フルスロツトル箱粒剤』**を使用し、発生初期から徹底的に抑え込みましょう。【表1】

ジャンボタニシ防除

ジャンボタニシは、2年連続で密度が高くなつていて、越冬数も多くなつています。**今冬の平均気温は平年より高かつたため、今年も発生数が多いと予想されます。**田植え直後に防除しないと一晩でかなりの被害となりますので、水中の濁りが澄んでから**スクミノン粒剤**を散布してください。散布後7日間は、落水やかけ流しをしないでください。

スクミノン粒剤 2〜4kg/10a (使用回数2回まで)

【表1】

対象病害虫 農薬名	残効期間※	アグリ								
		ニカメイチュウ	ウンカ類	コブノメイガ	イネミズウムシ	イネドロオイムシ	イネツトムシ	ツマグロヨコバイ	いもち病	紋枯病
フェルテラチェス箱粒剤	虫：約70日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
ピカピカ箱粒剤	虫：約60日 病：約50日	○	△	○	○	○			○	
ブイゲットフェルテラチェスL粒剤	虫：約70日 病：約55日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
エパーゴルプラス箱粒剤	虫：約60日 病：約70日	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
フルスロツトル箱粒剤	虫：約80日 病：約70日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※残効期間は目安です。水田の状況や病害虫の発生状況により前後します。